

両荘地区小中一貫義務教育学校(仮称)

標準服等検討委員会だより Vol.1 令和3年12月22日

令和6年度開校予定の両荘地区小中一貫義務教育学校(仮称)の制服・体操服・スクールバッグについて検討する第1回標準服等検討委員会が12月20日(月)に両荘中学校にて開催されました。

検討委員は都台こども園、みどりの森こども園、上荘小学校、平荘小学校、両荘中学校の職員及び保護者の代表10名と事務局1名の計11名です。7月に実施いたしました保護者アンケート結果をもとに、委員の皆様のご意見をいただきました。

制服については、新しい学校にふさわしいもの、家庭で洗濯できるもの、速乾性・耐久性・機能性・デザイン性に優れているもの、ジェンダーレスへの対応ができるもの、これまでの制服と同等の価格のもの等の多くの意見をいただきました。その結果、ブレザー、ズボン・スカート、ポロシャツを基準として調整していくことが決まりました。また、現在着用している制服も移行期間を設け、徐々に新しい制服に移行するほうが保護者負担の軽減につながるというご意見も取り入れていきます。

体操服につきましては、現在2小学校と中学校で着用しているものが、紺色ハーフパンツと白を基調としているため、同系色で新しい素材(速乾性・機能性・耐久性)を使用したもので調整していくことが決まりました。これも、制服と同様に移行期間を設け対応していく方向です。

スクールバッグについての検討も行いました。本年度より児童生徒一人に一台、端末(パソコン クロムブック)が配付されました。これにより教育の形が大きく変わろうとしています。パソコンを導入した学習に代わってきています。教科書もデジタル化が進んでくると思われます。学校に教科書を置くことが多くなります。そして、端末の持ち帰りにより、非常時の遠隔授業も可能になります。そこで、委員の皆様からは、「ランドセルを使用するより、軽くて持ち運びやすくパソコンが収納できるリュック型のバッグの方が機能的ではないか。」「保護者の金額的な負担の軽減にもつながるのではないか」等のご意見をいただきました。リュック型のスクールバッグにする方向で調整していきます。

最後に、メーカー(業者)選定につきましては、複数メーカー(業者)によるコンペを開催し、委員の皆様のご投票により決定いたします。具体的な制服につきましては、メーカー決定後に、児童生徒や保護者の皆様のご意見も聞きながら進めていくこととなります。